

第2回 中心市街地賑わい再生社会実験 専門部会

資料

目次

1. 前回の意見概要
2. ひろば・施設のオープンについて
3. 各種活動の報告
4. ひろば・施設の運営・管理計画
5. 効果検証
6. 今後の進め方、スケジュール

平成26年10月24日

松山市 都市整備部 都市デザイン課

1. 前回の意見概要

表 意見概要とその対応について

第1回専門部会での主な意見		事務局の応答	対応結果
分類	内容		
基本構想・ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットは、小さい子供、子育て世代の母親が中心なのか。 社会実験の基本構想・ターゲットとの兼ね合いをどう付けるのが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットは幅広い世代を想定している。 	—
プログラムについて	<ul style="list-style-type: none"> 当初から盛り込みすぎるのはどうか プログラムのバランスが重要 憩いの場としての利用が滞在時間の増加につながるのではないか。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 一定の期間、長めに開館することで周知を図り、使い方を知ってもらう。
ひろばの設え	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインへの配慮はあるのか。 休憩用のベンチが必要。 イベントに配慮し、移動式のベンチなど必要と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> フラットに進入が可能な設計に配慮している。 WSでベンチの自作活動を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチ制作の活動を展開中
	<ul style="list-style-type: none"> 子供利用にしては、丘の傾斜がきついのかと感じた。 菜園スペースの位置づけ・必要性を整理する必要がある。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 当初計画よりも丘の高さを低く施工。 菜園スペースという明確な位置づけではなく、様々な活動が展開できる空間として確保。
安全性	<ul style="list-style-type: none"> 夜間などの治安の問題が懸念 監視カメラは必要。 子供の飛び出しなど、安全面に配慮し、フェンス等が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討し、次回ご報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラを設置予定 入口付近に飛び出し抑止用のベンチを設置予定。 飛び出し注意を周知させるルールパネルをひろばのサインに設置予定。
WSについて	<ul style="list-style-type: none"> WSの議論を詳しく専門部会でも紹介いただければ、お互いの理解が進む。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み・意見のキャッチボールを行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日、WSの活動等について報告。
管理・運営 責任体制について	<ul style="list-style-type: none"> 地元への説明・周知が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の意見・意向を踏まえつつ、進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の各町内会への説明。また、番町地区町内会長の例会で周知
	<ul style="list-style-type: none"> 道路の通行規制についても地元の合意等、慎重に進めていただきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の設立（案）により引き続き連携を図る
	<ul style="list-style-type: none"> 責任問題・連絡体制については、きちんとルールが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ルール・連絡体制等を整理し、事前にご説明 ご相談したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局にて、WS意見も踏まえつつルール（案）及び連絡体制表を作成。
	<ul style="list-style-type: none"> 周辺からは火気を心配する声もある。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 各町内会・地元からの意見の聞き取りを実施。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 商店街や街なかへ人を呼び込むイベントが重要。 学生が施設を使い、繋がりが生まれれば、管理側で動いてもらえる展開も期待できる。 大学生から市民へ利用が広がることも考えられる。 まちのコンシェルジュ的な人がいてもよいのでは。 	—	<ul style="list-style-type: none"> アーバンデザインスクールなどのプログラムにより、大学生への浸透を図っていく

2. ひろば・施設のオープンについて

■オープンに関してのお知らせ

日時：平成26年11月1日（土） 午後13：30～ オープン

場所：松山アーバンデザインセンター（松山市湊町三丁目7番地12）

みんなのひろば

（松山市湊町三丁目8番地1）

■オープン当日の予定

- 13：40～ **みんなのひろばワークショップ発表会**（於：みんなのひろば）
 - 15：00～ **みんなのひろば・松山アーバンデザインセンター
オープニングフォーラム**
（於：坂の上の雲ミュージアム）
- ※詳細は別途配布のオープン告知のチラシを参照。

- ・ワークショップの討議内容の展示
- ・風景づくり夏の学校 2014
道後温泉模型展示
- ・オープニングフォーラムの
同時中継（15：00～17：30）
- ・芝張り活動の写真・ビデオ放映



※1 こけら落とし企画の会場イメージ

■施設・設備

<松山アーバンデザインセンター>

主な設備：多目的スペース、多目的トイレ など

※最新写真差し替え予定



図 整備前



図 整備後

<みんなのひろば>

主な設備：丘、噴水、手押しポンプ、土管 など



図 整備前



図 整備後

3. 各種活動の報告

3.1 みんなのひろばワークショップの取り組みについて

(1) 実施概要

みんなのひろば ワークショップ

全3回
(参加無料)

松山市では、ことし10月ごろから約1年半の期間、だれでも使える拠点施設・広場を整備し、まちなかに「みんなのひろば」をつくる社会実験を実施します。その「みんなのひろば」をどう使っていけばいいか、みなさんと一緒に考えるワークショップを行います。



プログラム

第1回 7月23日(水) 18:30~21:00 「みんなのひろば」で “何ができそう?”	第2回 8月20日(水) 19:00~21:00(未定) 「みんなのひろば」を “コーディネートしよう!”	第3回 9月22日(月) 19:00~21:00(未定) 「みんなのひろば」で “実現しよう!”
--	--	---

【事前のお願い】あなたが、
・どんなまちなかにしていきたいか
・まちなかで実現したいおもしろいこと
について考えてきてください!

ひろば
OPEN

10月頃(予定)
成果発表など

講師

羽藤 英二 氏(東京大学大学院工学系研究科 教授)
梅岡 恒治 氏(梅岡設計事務所)

場所

未定 *参加者に別途ご連絡いたします

申込み方法

以下のいずれかの方法で、①氏名②年齢③所属(会社・学校等)④電話番号⑤メールアドレスについて、7月16日(水)までにメール又はFAXでお申込みください。

*原則、全3回の日程について参加をお願いします。
*都合により、定員は30名程度とさせていただきます。
*タイトルは「ワークショップ申込み」として下さい。

メールでお申込みの場合
design@citymatsuyamaehim.e.jp
FAXでお申込みの場合
089-934-1807



お問い合わせ

松山市都市デザイン課(松山市二番町四丁目7-2)
TEL: 089-948-6848

(2) プログラム・テーマについて

項目	概要
第1回 WS (7/23) 50名参加	■テーマ : みんなのひろばで“何ができそう?” 討議内容 : 『広場でやりたいこと、+αしたらいいもの』
第2回 WS (8/20) 45名参加	■テーマ : みんなのひろばを“コーディネートしよう!” 討議内容 : 第1回 WS 意見をもとに4テーマの5グループに分かれて討議。 イベント班 : ひろば・施設での賑わいイベント・活動について考える。 マネジメント班 : ひろば・施設におけるルールづくりや管理・運営について考える。 ものづくり班 : ひろばにおけるオプション(設え等)について考える。 情報発信班 : ひろば・施設やそこでの活動についての広報・情報発信を考える。
第3回 WS (9/22) 44名参加	■テーマ : みんなのひろばで“実現しよう!” 事前課題 : イベント班 : ひろば・施設のオープン後に自分が主催する企画を考えてきてください。 マネジメント班 : 自分がひろばを使ったり、管理する場合、守りたいルール〇か条を考えてきてください。 ものづくり班 : ひろばにあったらいい・自分がつくりたいベンチの絵を描いてきてください。 情報発信班 : オープンをお知らせするキャッチコピーを考えてきてください。

(3) 第1回ワークショップでの討議

設え	WS意見概要	グループ					ひろば整備への反映について <small>赤字: 設計に反映、青字: 今後みんなで考え設える</small>	
		A	B	C	D	E		
常設	丘	・丘がシンボル/壁側の傾斜はなだらかな方がよい ・丘はもう少し低い方がよい/丘に階段/座るスペース ・丘に穴をあける	○	○	○	○	○	⇒市民が集える憩いの場として、遊ぶ・座るなどの利便性に配慮し、丘を設計。
	水場	・水場のまわりにベンチ ・子供が遊べるスペースに	○	○				⇒子供たちが遊べる様、水の溜りや噴水装置を設けた水場を設置。
	井戸	・井戸水が飲めたらいい ・手を洗える場所(神社の手水のような) ・井戸にポンプ		○	○			⇒井戸に手押しポンプを設置。
	舗装	・一面芝生広場(子供が転んでも安心) ・高齢者や体の不自由な方にも配慮した環境が必要			○		○	⇒入口部をフラットに設計。
	遊具	・子供の遊び場として丘の中に土管 ・吹き抜けの小屋(こどもが一人で遊べる) ・丘の上に滑り台			○	○		⇒子供が遊べる「土管」を配置。
	柵	・建物の壁を緩和させる柵					○	⇒一部に柵を設置
常設・ ロー設置(今後検討)	テーブル・ベンチ	・イスを自由に動かせるように/必要な時に出すイス ・移動式のテーブル持ち寄り/日よけ ・あまりモノを置かない。シンプルなデザイン。	○				○	⇒ワークショップで考えていく。
	サイン	・子供が走り回り道路へ飛び出したりしないか不安 ・日替わり・月替わりテーマ。〇〇の日という看板		○	○			⇒情報が入れ替えられるサインを設置 ⇒コンテンツはワークショップで考えていく。
	スペース・周囲の活用	・壁面活用(パブリックビューイング/絵画/落書き) ・収穫体験(食育)	○	○	○	○	○	⇒今後の活動に配慮した空間配置計画を行った。(植栽・丘などの配置) ⇒活動は、ワークショップで考えていく。
	その他	・まちづくりに関わった人の名前を残す					○	⇒ワークショップで検討していく。

ひろばの設計に意見を反映

3. 各種活動の報告

(4) 第2回、第3回ワークショップでの討議

■イベント A・B 班

<テーマ>

自分たちで主催する企画アイデア

<主な意見>

- フリーマーケット
- 読書会・映画上映
- 野球拳おどろき練習会
- 自己啓発活動の発表会
- 異業種交流会
- 各種教室 等



今後、自主的なイベント・活動の展開に期待

■ものづくり (DIY) 班

<テーマ>

ひろばにあったらいい・

自分が作りたいベンチを考える

<主な意見>

- “おひとり様”も“みんな”も利用できるベンチ
- 連結できるベンチ

等



ベンチの制作活動に展開

■マネジメント班

<テーマ>

みんなが守りたくなるルールを考える。

<主な意見>

- ごみを持ち帰ろう
- 緑を大切にしよう
- 進んで清掃しよう
- 夜は静かに
- イベントは許可制
- 火の使用禁止
- 球技の禁止
- 自転車は駐輪場へ 等



みんなのひろば利用ルールに反映
継続的な検討・見直し

■情報発信班

<テーマ>

ポスター・チラシの

キャッチコピーを考える

<主な意見>

- 憩いのまちの広場
- ギュッとつまんだ素敵なまちなか空間
- 笑顔・人がひろがるまちひろば
- みんなが作ったみんなのひろば

等

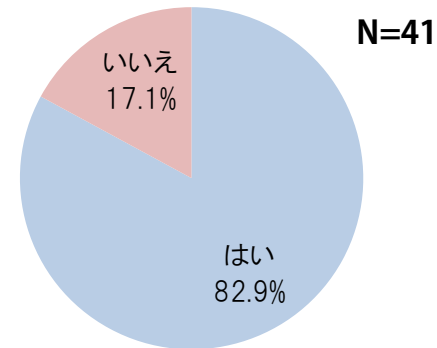


キャッチコピーをオープン告知チラシへ反映
市民・学生の参加による情報発信等の展開に期待

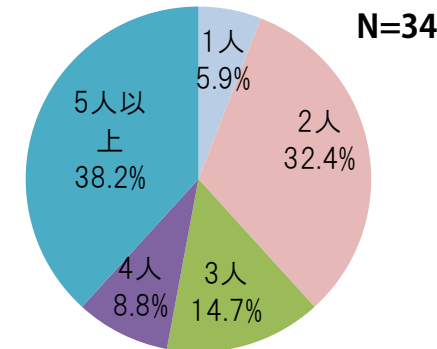
3. 各種活動の報告

3.2 ワークショップ参加者アンケート

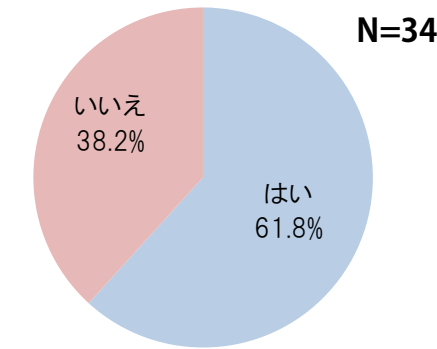
Q. ワークショップ以外で誰かと施設・ひろばについて話をしましたか？



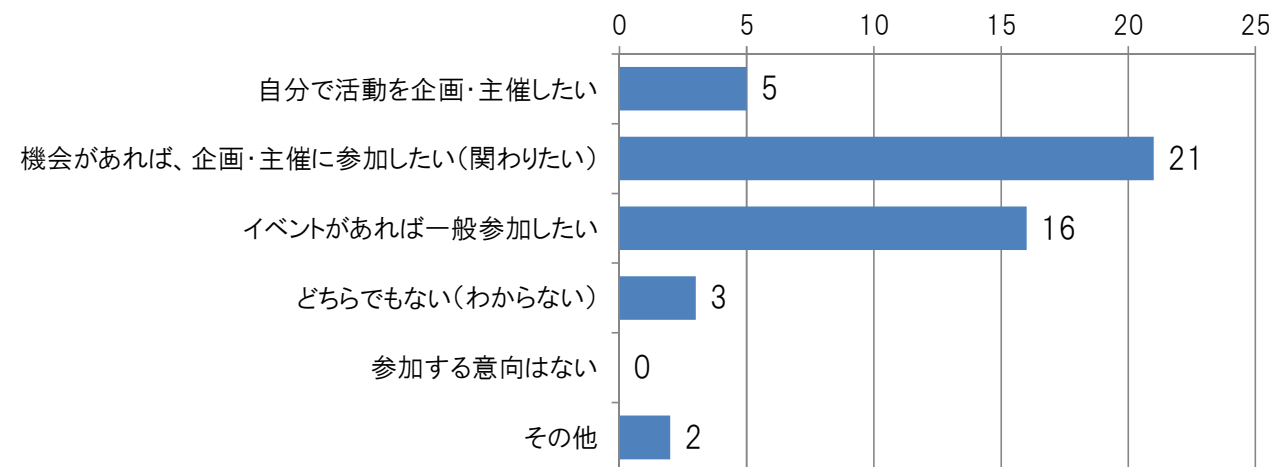
Q. 「はい」と回答した方は何人くらいに話しましたか。



Q. ご家族や知人でこのような活動に興味を持たれた方はおられますか？



Q. オープン後の活動への参加意向についてお聞かせください。 N=47 (複数回答)



3.3 社会実験ポータルサイトの開設

・ひろば・施設での活動等の情報を広報するポータルサイトを開設予定

ホームページアクセス → 『<http://nigiwai-matsuyama.jp/>』



ホーム > みんなのひろばワークショップ

【フォーラム・ワークショップ】 みんなのひろばワークショップ



みんなのひろばワークショップ
第3回
ワークショップ

- 日時：2014年9月22日(水) 18:30~20:30
- 場所：K H三番町プレイス3階会議室
- 講師等：羽藤英二氏(東京大学大学院工学系研究科教授) 梅岡恒治氏(梅岡設計事務所)
- テーマ：「みんなのひろば」で実現しよう!



みんなのひろばワークショップ
第2回
ワークショップ

- 日時：2014年8月20日(水) 19:00~21:00
- 場所：K H三番町プレイス4階会議室
- 講師等：羽藤英二氏(東京大学大学院工学系研究科教授) 梅岡恒治氏(梅岡設計事務所)
- テーマ：「みんなのひろば」をコーディネートしよう!



みんなのひろばワークショップ
第1回
ワークショップ

- 日時：2014年7月23日(水) 18:30~21:00
- 場所：K H三番町プレイス3階第1会議室
- 講師等：羽藤英二氏(東京大学大学院工学系研究科教授) 梅岡恒治氏(梅岡設計事務所)
- テーマ：「みんなのひろば」で「何ができそう?」



3. 各種活動の報告

3.4 芝張活動

- ・みんなのひろばの整備進捗にあわせて、WS参加者・一般の方へ呼びかけを行い、希望者によるひろばの芝張イベントを開催。

松山市中心市街地賑わい再生社会実験
みんなのひろば
PROJECT

9月23日
(火・祝)

みんなのひろばに 芝を張ろう！

松山市では、ことし10月ごろから約1年半の期間、だれでも使える拠点施設・広場を整備し、まちなかに「みんなのひろば」をつくる社会実験を実施します。
その「みんなのひろば」づくりに、あなたも参加してみませんか？

■作業の内容

- ・みんなのひろばで、芝張りをおこないます。
- ・専門の業者が指導しますので、はじめての方、お子様でも大丈夫です。
- ・土を触りますので、軍手を持ってきてください。
- ・当日は汚れてもいい服装でお越しください。

■日時

平成26年9月23日(火・祝) 10時～

※小雨決行、雨天の場合は27日(土)に実施。
(悪天候の場合、当日8時30分に実施の可否を決定します)

■参加申し込み

不要

■実施場所



マット芝を並べます

目土を入れます

お問い合わせ

松山市都市デザイン課(松山市二番町四丁目7-2)
TEL: 089-948-6848

■開催結果

実施日:平成26年9月23日(火・祝) 10:00～

概要:約30名の方が参加。一般の通行人の見学やマスコミの取材で活況。

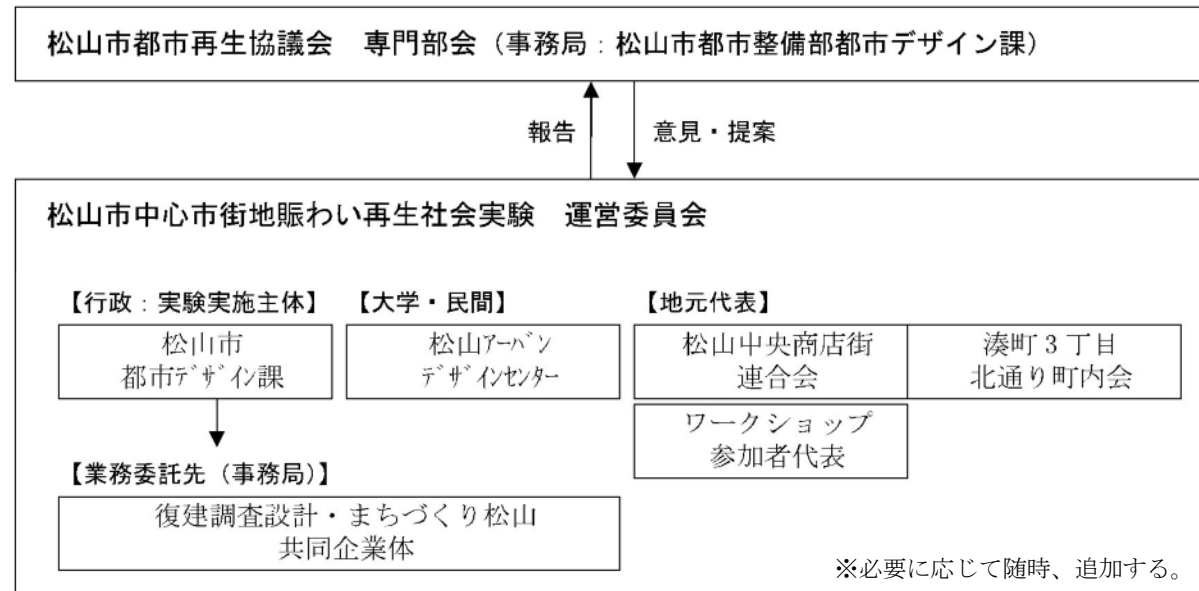


4. ひろば・施設の運営・管理計画（案）

4.1 運営・管理体制（案）

・本社会実験の実施にあたっては、関係者間で構成する「運営委員会」を立ち上げ、実施する。

1. 運営・管理体制



2. 運営委員会の役割・機能

- ・定期的（月1回程度）な運営状況の連絡会議
- ・運営上の課題に対する改善・見直し対応についての検討（報告）
- ・利用ルールの見直し
- ・みんなのひろば占有使用（活動内容）に対する審査

※アーバンデザインセンター1Fを使用する、近隣への影響が少ないと判断される使用については、松山市及びアーバンデザインセンター等の事務局にて適宜判断する。

4.2 運営の概要

	施設1F (松山アーバンデザインセンター)	広場 (みんなのひろば)
開館時間	[月～金] 10:00～20:00 (10時間) ※施設1Fは、お申し込み内容によっては22:00まで(月～金)の使用も可能。	[土日祝日] 10:00～18:00 (8時間)
休館日	年末年始(12/29～1/3)	
料金	当面無料	
常駐人員	2名体制 (時間帯によっては1名の場合もある)	
設備等	多目的スペース/トイレ (多目的・女子) /テーブル・チェア/本・雑誌 等	芝生広場/ミニ噴水/遊具 (土管) /手押しポンプ/ベンチ 等

※UDCM 2階は、事務所として専用使用とし、一般者の立入は原則不可とする。

4.3 利用のルール（案）について

・利用ルールについては、「みんなのひろばワークショップ」における参加者や地元の方の意見を踏まえ、検討を行った。(詳細は、別紙1を参照。)

利用の3原則

きれいに使おう! 仲良く使おう! 安全に使おう!

利用の3原則

ルールの基本コンセプト

- み (みらいのために) 未来のために
- ん (かんがえる) 考える
- な (なんねんさきにも) 何年先にも
- の (のこるような) 残るような
- ひ (ひとりひとりがこころがけ) 一人一人が心がけ
- ろ (ろうにやくなんによがっとう) 老若男女が集う
- ば (ばしょにしよう) 場所にしよう



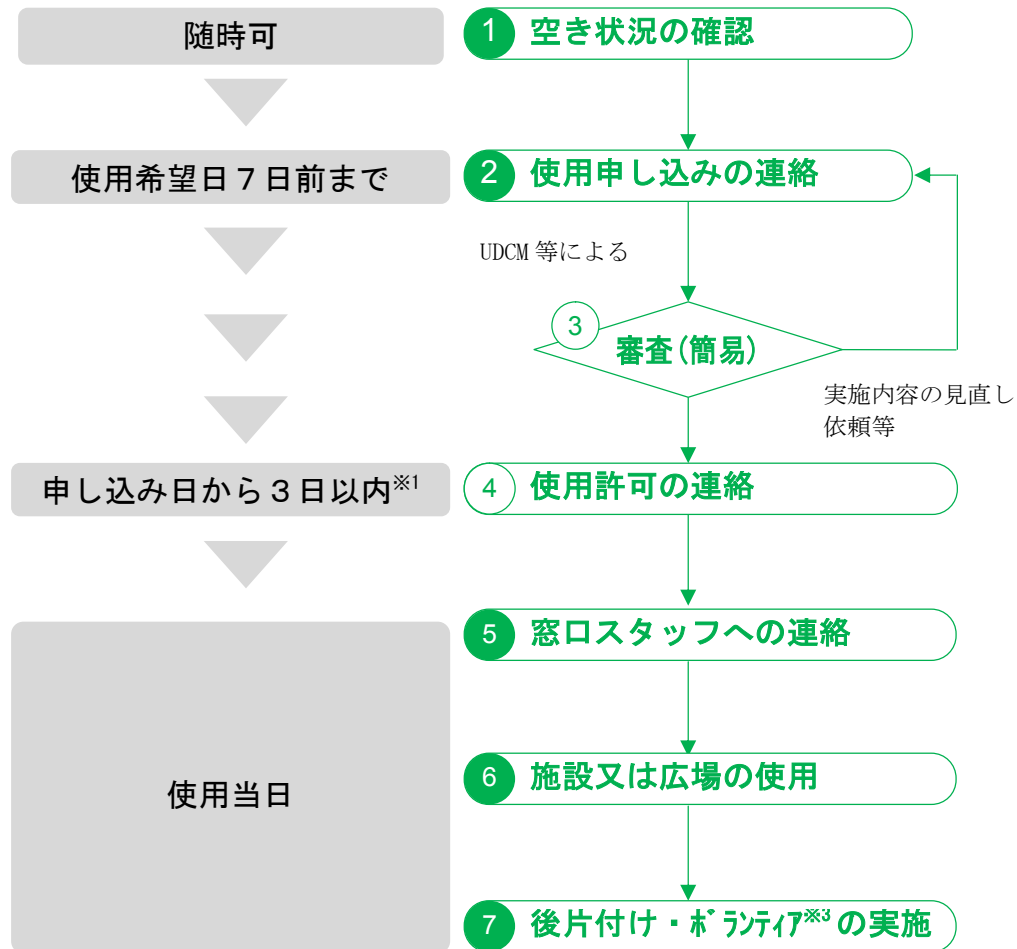
※利用ルールは、社会実験期間中、運営委員会等を通じて適宜見直しを図っていく。

4. ひろば・施設の運営・管理計画（案）

4.4 占有使用の許可申請（案）について

(1) 施設の使用手続き（詳細は、別紙1を参照。）

・施設の使用は、松山アーバンデザインセンター等にて許可を判断

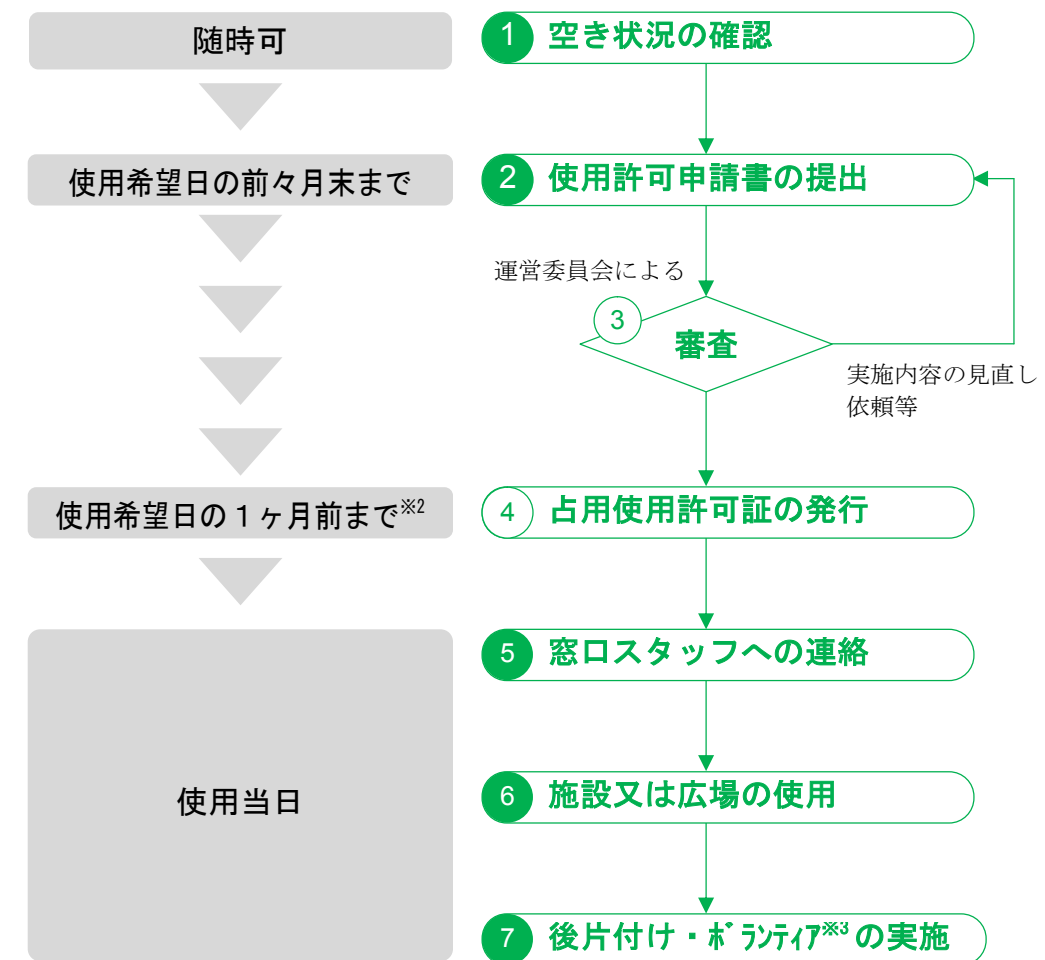


※1 申し込み日の翌日が土・日・祝日の場合、次の平日より3日以内

※3 施設の無料使用に対するボランティア清掃などを呼びかける

(2) ひろばの使用手続き（詳細は、別紙1を参照。）

・ひろばの使用は、運営委員会にて許可を判断



※2 許可証の発行日は数日前後する可能性がある。

4.5 許可基準（案）

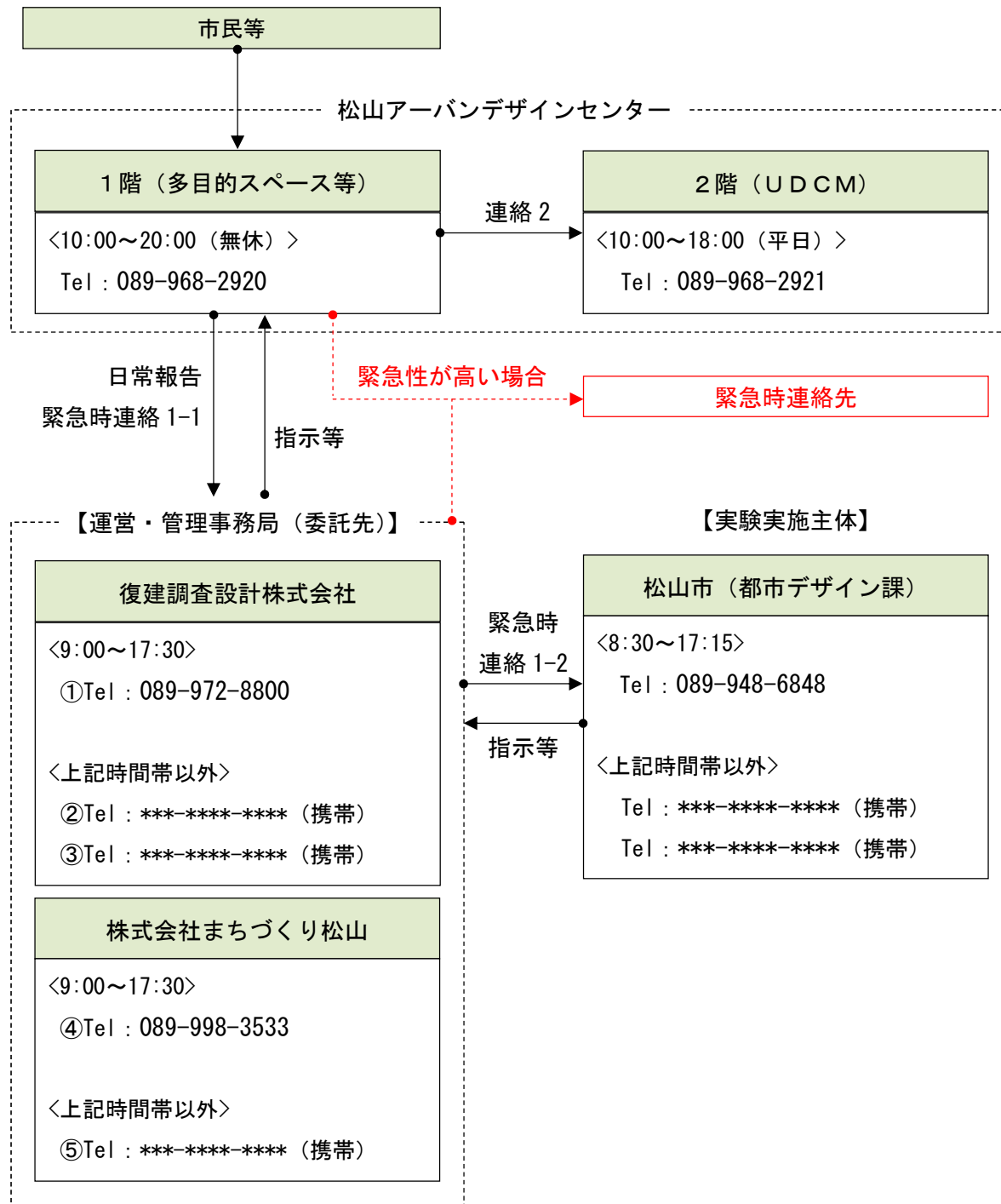
	チェック項目
公共性	<input type="checkbox"/> 営利を目的とした使用（物品の販売、営業活動など）に該当しないか
	<input type="checkbox"/> 収益性の高い活動ではないか
	<input type="checkbox"/> 政治的又は宗教的色彩を有する恐れがある活動ではないか
	<input type="checkbox"/> 複数日の連続使用ではないか
安全性	<input type="checkbox"/> 施設・広場を破損・汚損する恐れのある活動ではないか
	<input type="checkbox"/> 火気、危険物、薬品等の使用（持込）はないか
	<input type="checkbox"/> 来場予定者が施設・広場の収容範囲を超える人数ではないか

	チェック項目
近隣配慮	<input type="checkbox"/> 大音量や振動、臭気が発生する活動ではないか
実績	<input type="checkbox"/> 過去に問題を起こした実績はないか。
その他	<input type="checkbox"/> 管理上又は風紀上好ましくない活動ではないか
	<input type="checkbox"/> 活動内容が明確になっているか

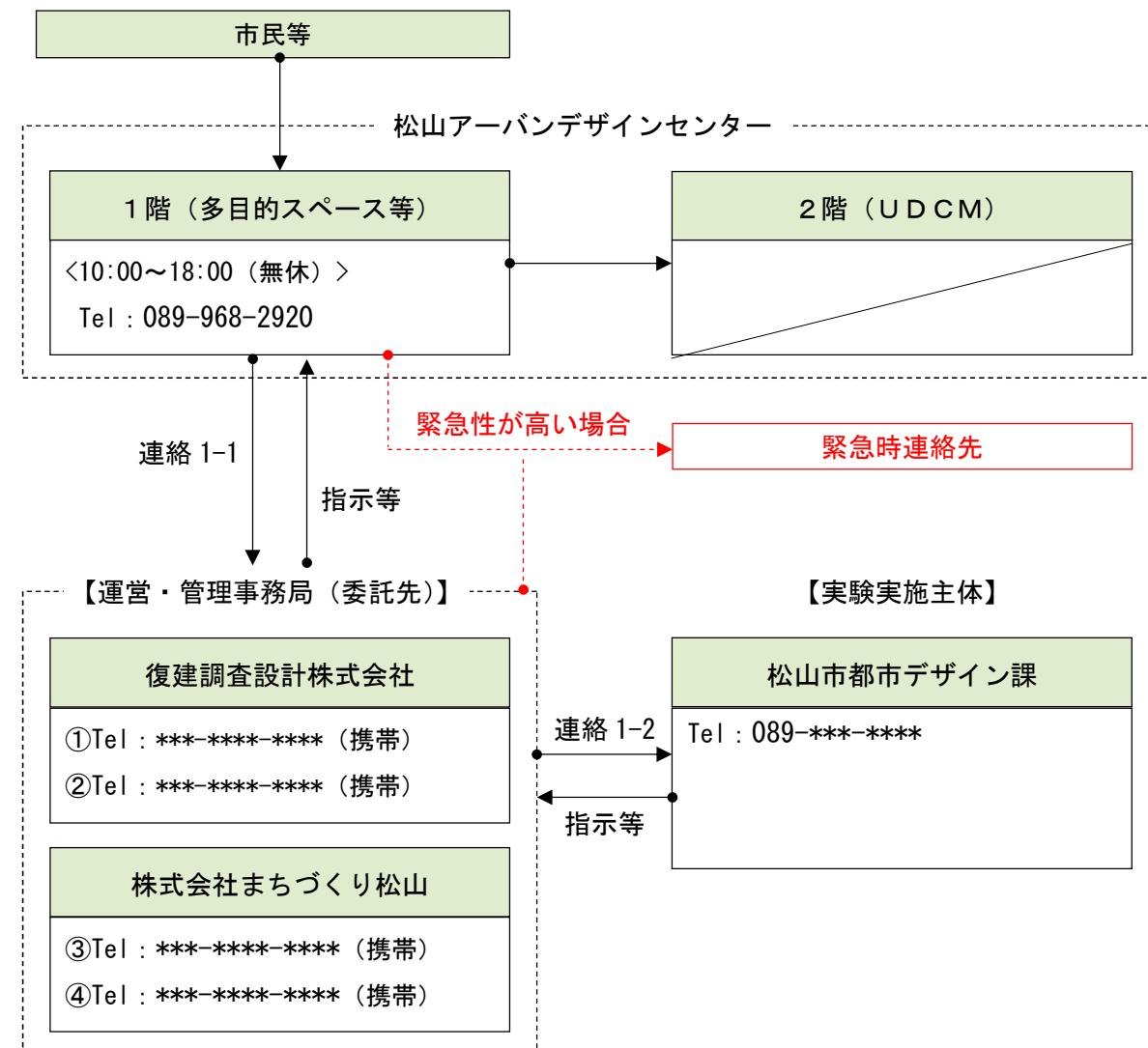
4. ひろば・施設の運営・管理計画（案）

4.6 連絡体制（案）について

(1) 平日：祝祭日を除く月～金曜日の連絡体制



(2) 休日：土・日曜日、祝祭日の連絡体制



(3) 緊急時連絡先

<input type="checkbox"/> 消防（火災・救急・救助）	119	<input type="checkbox"/> 松山市消防局	089-926-9200
<input type="checkbox"/> 警察（緊急）	110	<input type="checkbox"/> 松山市災害対策本部（設置時）	089-987-7000

機関	施設名	所在地	電話番号
警察	松山東警察署	松山市勝山 2-13-2	089-943-0110
消防	松山市消防局・中央消防署	松山市本町 6丁目 6-1	089-926-9200
救急医療	野本記念病院	松山市三番町 5丁目 12-1	089-943-0151
	松山赤十字病院	松山市文京町 1	089-924-1111
	愛媛県立中央病院	松山市春日町 83	089-947-1111
	松山市民病院	松山市大手町 2丁目 6-5	089-943-1151
	松山笠置記念心臓血管病院	松山市末広町 18-2	089-941-2288
	梶浦病院	松山市三番町 4丁目 4-5	089-943-2208

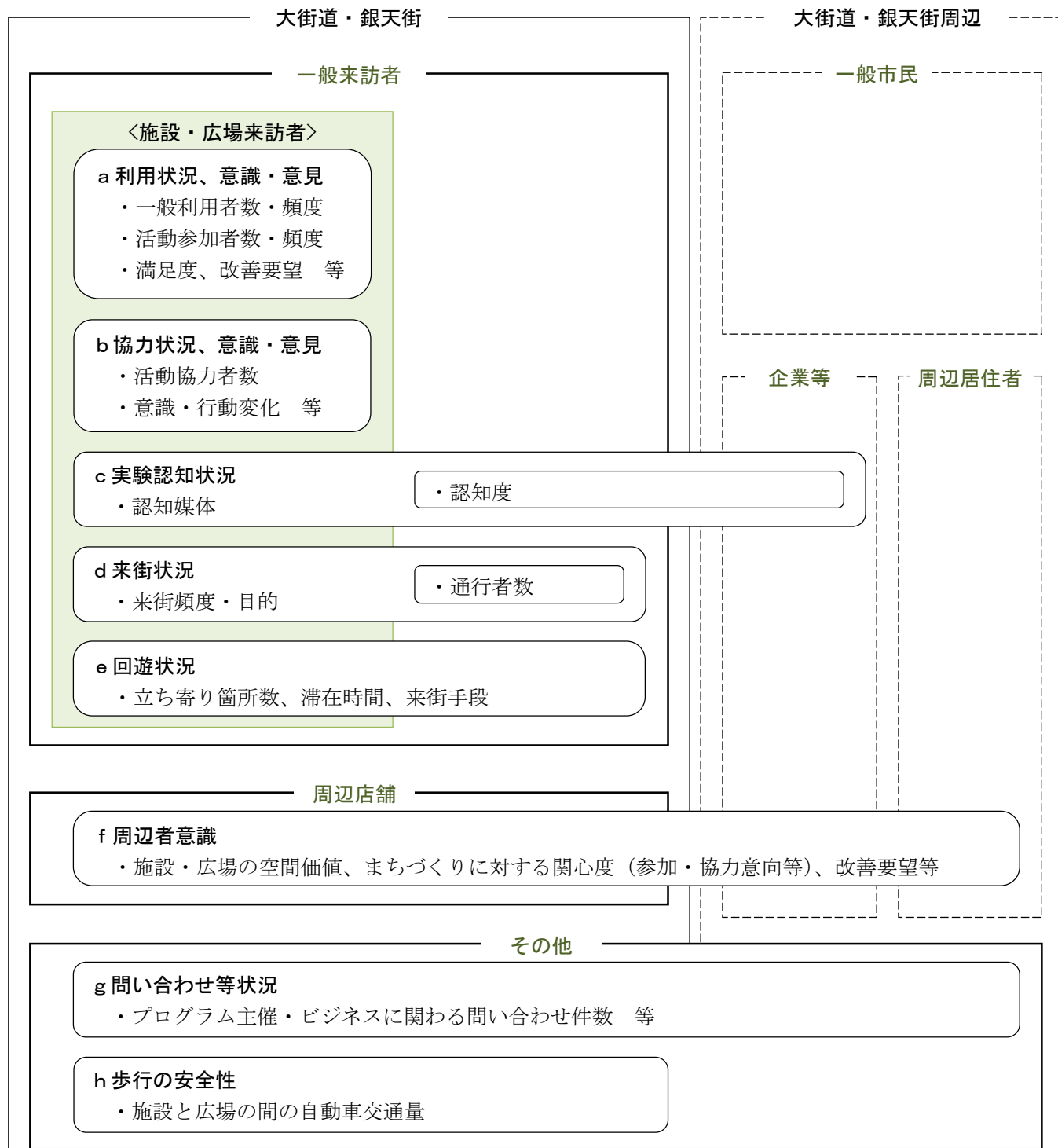
5. 効果検証

5.1 目的

- a. 施設・広場の利用実態・ニーズの把握（課題の把握）
- b. 社会実験の効果検証（行動・意識の変化、展開可能性等の把握）

5.2 対象者及び調査項目・方法

・施設・広場来訪者及び大街道・銀天街来訪者を中心に各種調査を実施する。



調査項目と調査方法

着眼点	主な調査項目	定量 (カウント)			定性 (アンケート・ヒアリング)					実施頻度	
		①	④	⑧	②	③	⑤	⑥	⑦		
賑わい 憩い・潤い 愛着	a 施設・広場 利用状況、 意識・意見	・一般利用者数（活動別）	●								常時
		・ " " の利用頻度				●					定期
		・プログラム(活動)参加者数	●								活動時
		・ " " の参加頻度				●					
		・施設・広場やプログラムの 満足度・改善要望等意見				●					常時
関心 愛着	b 市民協力状況、 意識・意見	・運営・管理等協力者数			●						活動時
		・活動を通じた意識・行動変化、 協力条件 等					●				
周知	c 実験認知状況	・実験(施設・広場)の認知度、認知 媒体				●		●		●	定期
賑わい	d 来街状況	・来街者数（通行者数） ※第2期松山市中心市街地活性化基本 計画 数値指標		●							
		・来街頻度、来街目的				●		●			
回遊	e 回遊状況	・立ち寄り数、滞在時間、来街手段				●		●			
関心 愛着	f 周辺者意識 ・意見	・施設・広場設置による空間価値 ・まちづくりに対する関心度（参加 協力意向）、改善要望 など							●	●	
関心	g 問い合わせ等 状況	・プログラム主催やビジネスに関わ る問い合わせ件数			●						常時
安全	h 歩行の安全性	・自動車交通量		●							定期

常時：常駐する受付スタッフが適宜、調査を実施。

活動時：活動が行われるタイミングで調査を実施。

定期：3～6ヶ月、6ヶ月に1回などのスパンで調査を実施。

【調査手法】

- ① 施設・広場利用実態調査
- ② 施設・広場利用者アンケート調査
- ③ 活動協力者アンケート調査
- ④ 通行実態調査
- ⑤ 街頭ヒアリング調査
- ⑥ 周辺店舗・居住者アンケート調査
- ⑦ 企業アンケート調査
- ⑧ その他（事務局調査）

6. 今後の進め方・スケジュール

6.1 今後の活動予定について

- (1) アーバンデザインスクールについて
- (2) 自主事業（案）について
 - ・みんなのひろばワークショップでのアイデアを基に企画・実施を想定
- (3) 各種調査の実施（常時・オープン1ヶ月後の主な調査）
 - ・施設・広場の利用実態（日常の観測・調査員による観測）
 - ・施設・広場の利用者アンケート
 - ・通行実態調査（施設・ひろば間の道路の自動車交通量）
 - ・街頭インタビュー（大街道・銀天街等） 等
- (4) ひろば・施設の利用促進
 - ・関係者への呼びかけ
 - ・広報活動の展開 等

6.2 第3回専門部会の次第（案）

日時：平成27年2月ごろ

場所：調整中

議題：

1. 第2回専門部会の意見
2. 来訪・利用状況等の報告
3. 各種活動の報告
 - 3-1. アーバンデザインスクール
 - 3-2. 自主事業の実施結果
 - 3-3. 市民主催事業の実施結果
4. 運営・管理状況の課題・見直し改善について